

大倉ダムの魅力発信事業 ～鯉のぼり×大倉ダム～

宮城西市民センター × 青葉区中央市民センター

1 事業概要

日本で唯一のダブルアーチ式ダムである大倉ダムの魅力と、その周辺の素晴らしい景観を広く発信しようと、平成29年度に市民企画会議「大倉ダムの魅力発信」を立ち上げ、令和元年度からは、青葉区区民協働まちづくり事業を活用して、鯉のぼりの係留イベント「鯉のぼり×大倉ダム」を始めました。令和4年度は、5月3日から5日まで、大倉ダム下公園を会場に開催し、多くの方が来場しました。



2 令和4年度の活動

令和3年度に、地域に伝わる天狗伝説を紹介する看板が、会場となる大倉ダム下公園内に設置したこと続き、令和4年度は地元の漫画家をお願いして、これまでの印刷物をその伝説にまつわるデザインに変更しました。ほのぼのとした温かいデザインが大変好評で、それに関連して、記念撮影用パネルの設置、来場記念葉の制作・配付などを行いました。

3 成果と課題

来場記念葉の制作には、地域の伝説や歴史を紹介するエピソードを掲載したので、地域のことを広く知ってもらえて良いツールになりました。一方で、来場者にゆっくり観覧してもらおうと用意したキッチンカーとイステールセットは、思いの外利用した人が少なく、課題を残しました。来場者を呼び込む仕掛けと、将来的には、公園までのアクセス改善につながるようなハード整備も必要だと感じました。

4 今後の展望

現在、令和5年度に向けて、鯉のぼりの係留ロープを強度の強いものに交換し、吊す鯉のぼりの大きさと本数を増やすことを検討しています。令和6年度以降は、夜のライトアップ等ができないか、関係機関とも協議をして方法を模索していきたいと考えています。これからも多くの方に、元気に泳ぐ鯉のぼりを見て頂きたいと思っています。

